

平成26年度

TRI ゆめ まち ひと 夢・街・人づくり助成金

助成金交付申請用紙

申請日 平成26年 7 月 00 日

団体名	〇〇〇〇〇の会
代表者氏名	東海 太郎

## 1、助成金の区分（申請する部門にチェックを入れてください）

 夢スタート部門（50,000 円）  街・人づくり部門（100,000 円）

## 2、該当する分野（該当するものにチェックを入れてください）

- 障がい者福祉に関する事業
- 文化・芸術の振興を図る事業
- 青少年の健全育成を図る事業
- 安心・安全な社会づくりに関する事業
- 環境との共生を図る事業

3、事業名 自然から学ぶ食を通じた子どもの心育て 事業4、事業費総額 166,000 円5、助成金申請額 100,000 円

## 6、添付書類（チェックを入れてください）

- 1) 事業計画書
- 2) 収支予算書
- 3) 団体の概要書
- 4) 団体の規約、会則または定款の写し
- 5) 団体の会員名簿

ゆめ まち びと  
TRI 夢・街・人づくり助成金

## 事業計画書

団体名	〇〇〇〇〇の会		
事業名	自然から学ぶ食を通じた子どもの心育て事業		
事業期間	平成 26年〇〇月〇〇日 ~ 平成 27年〇〇月〇〇日		
事業費総額	166,000円	助成申請額(5万・10万)	100,000円
事業の目的	<p>農作物の栽培や収穫体験を通じて、子ども達に食べ物の大切さ、自然の大切さを知ってもらい、その農作物が育った大地・水・空気・そして季節や風土に対して興味を持つことを促し、次世代の自然との共生への関心や感謝のこころを育むことを目的とする。</p> <p>また、この事業を行うことで①問題となっている休耕田の活用②世代間交流等の我が市が抱える問題にも寄与する。</p>		
事業の内容	<p>①地域住民との連携による子ども達の種まき、苗植え体験講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者一般公募(20名程度)</li> <li>・ 農業体験者、地域の老人会の方等に講師を依頼(講師とは別に教える側でお手伝いしていただける方も一般募集)</li> </ul> <p>②栽培途中で、育成状況の見学会と植物や食べ物の大切さ、自然の大切さに関するお話会の開催</p> <p>③収穫祭の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収穫体験</li> <li>・ 採れたての農作物を調理して食べてみる</li> <li>・ 意見交換会</li> </ul>		
事業のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〇月 詳細な計画の打合せ・会場や講師の手配</li> <li>・ 〇月 チラシ等による参加者とお手伝いの公募開始</li> <li>・ 〇月~〇月 計画に基づいた活動の実施・中間報告書の提出</li> <li>・ 〇月 事業の振返り・事業報告書の作成提出</li> </ul>		

※箇条書きで具体的に記入してください。

ゆめ まち びと  
TRI 夢・街・人づくり助成金

## 事業計画書(2) 夢づくりスタート部門用

### 申請事業のアピール

(審査の必須項目で、大きな判断材料になります。)

<p>1) 公益性</p> <p>市町民に広く及ぼす公益性について</p>	<p>市内住民の幅広い世代に関わっていただくことにより、一部の人だけではなく、多くの方に食の大切さと次世代の心育ての必要性に感心を持っていただくことができます。また、市内で問題となっている休耕地の活用や、世代間交流のモデルケースとなり、今後の広がりが期待できます。</p>
<p>2) 実現性</p> <p>この事業を実現させるための方法について</p>	<p>1. 同じ市町に住む地域のことを熟知、また農に関して詳しい高齢者の方などにも協力をしていただき、多くお手伝いしていただける方を募集します。この手法を取ることで、様々な得意分野を持った人材とノウハウを活かすことができ、目的を達成するための細かいプログラムを組むことが可能になります。</p> <p>2. 農作物を栽培する土地は、我が市でも問題となっている休耕地を地主の好意により無償で使用させていただきます。</p>
<p>3) 社会課題性</p> <p>この事業により解決しようとする社会課題について</p>	<p>【課題】 いつでも欲しいときにお弁当や総菜が手に入る昨今、子ども達の「食」や「自然」に対する「ありがたい」という意識が低くなってきています。一方で今まであまり地域と関わる事なかった団塊世代が退職に伴い、居場所を見つけにくくなっています。また、高齢化に伴い、市内に耕作放棄地が増加しています。</p> <p>【効果】 地域の「子ども達」と「団塊世代」やさらに世代が上の「高齢者」が一緒になって作業することで、世代間交流が生まれ地域の絆力が向上する。そして、地域の絆力が向上することで、災害時などに地域ごとに共助が得られやすくなります。</p>

※箇条書きで具体的に記入してください。

## 事業計画書(2) 街・人づくり部門用

## 申請事業のアピール

(審査の必須項目で、大きな判断材料になります。)

<p>1) 公益性 市町民に広く及ぼす公益性について</p>	<p>市内住民の幅広い世代に関わっていただくことにより、一部の人だけではなく、多くの方に食の大切さと次世代の心育ての必要性に感心を持っていただくことができます。また、市内で問題となっている休耕地の活用や、世代間交流のモデルケースとなり、今後の広がりが期待できます。</p>
<p>2) 実現性 この事業を実現させるための方法について</p>	<p>1. 同じ市町に住む地域のことを熟知、また農に関して詳しい高齢者の方などにも協力をさせていただき、多くお手伝いしていただける方を募集します。この手法を取ることで、様々な得意分野を持った人材とノウハウを活かすことができ、目的を達成するための細かいプログラムを組むことが可能になります。</p> <p>2. 農作物を栽培する土地は、我が市でも問題となっている休耕地を地主の好意により無償で使用させていただきます。</p>
<p>3) 社会課題性 この事業により解決しようとする社会課題について</p>	<p>1. いつでも欲しいときにお弁当や総菜が手に入る昨今、子ども達の「食」や「自然」に対する「ありがたい」という意識が低くなってきています。</p> <p>2. 今まであまり地域と関わる事なかった団塊世代が退職に伴い、居場所を見つけにくくなっています。</p> <p>3. 高齢化に伴い、市内に耕作放棄地が増加しています。</p>
<p>4) 実効性 この事業がもたらす具体的な効果について</p>	<p>1. 地域の「子ども達」と「団塊世代」やさらに世代が上の「高齢者」が一緒になって作業することで、世代間交流が生まれ地域の絆力が向上する。</p> <p>2. 地域の絆力が向上することで、災害時などに地域ごとに共助が得られやすくなります。</p>
<p>5) 独自性・独創性 申請団体ならではの着眼点や手法について</p>	<p>小牧市の伝統的な郷土料理やこの土地の風土・歴史について詳しい団体なので、この地域に根差した事業を展開することが可能です。また、今まで連携してきた学校関係や子ども会、老人会などのネットワークとの関わりを活かし、沢山の方に携わっていただくことができます。</p>
<p>6) 発展性 助成期間終了後のさらなる活動の発展について</p>	<p>助成終了後も継続を基本とし、この助成を受けて行った事業をモデルケースとして、このノウハウを他地区に広げる活動を行います。</p>
<p>7) 自立性 補助金だけに頼らない自立意識について</p>	<p>この事業の結果を出すことにより、食育の大切さを含め、将来の我が市を担う次世代を育成することの必要性をアピールし、地域の企業などに協賛を呼びかけます。また、事業の継続を目指し、後には子ども達と育てた農作物を子ども達の手で市民に販売し、売上を運営費に充当できるように計画を進めていきます。</p>

※箇条書きで具体的に記入してください。

ゆめ まち ひと  
TRI 夢・街・人づくり助成金

## 収 支 予 算 書

収入の部

(単価：円)

項 目	金 額	摘 要
①夢・街・人づくり助成金	100,000	助成金
②自己資金	60,000	団体会費より
③その他の資金	6,000	参加費@300×20名 (保険料・材料代)
<b>合 計 (A)</b>	<b>166,000</b>	

支出の部

(単価：円)

項 目	金 額	摘 要	
助成対象経費	人件費	30,000	スタッフ人件費 (@3,000×10名)
	謝金	9,000	講師への謝礼 (@3,000×3回)
	交通費	27,000	外部講師交通費 (@2,000×2人×3回=12,000) 公募お手伝いスタッフ (@500×10人×3回=15,000)
	通信運搬費	6,000	チラシ等送付用切手代 (@120×50ヶ所=6,000)
	印刷製本費	40,000	チラシ等作成費 (紙代・印刷代)
	消耗品費	20,000	種、苗、肥料等・調理の体験に使用するもの
	使用料	15,000	会場使用料 (お話し会場費・調理室等)
	保険料	4,000	参加者@100×30名 スタッフ@100×10名
<b>計 (B)</b>	<b>151,000</b>		
助成対象外経費	食糧費	10,000	会議時弁当 打合せ用お茶
	物品購入費	5,000	図書購入費
<b>計 (C)</b>	<b>15,000</b>		
<b>合 計 (B+C=A)</b>	<b>166,000</b>		

## 団体の概要書

団 体 名	ふりがな 〇〇〇〇〇のかい
	〇〇〇〇〇の会
団体の所在地	住所 小牧市〇〇〇〇
	TEL (0568) 〇〇-〇〇〇〇 FAX (0568) 〇〇-〇〇〇〇
	E-mail komaki-XX△△@〇〇.ne.jp
代 表 者 名	ふりがな とうかい たろう
	東海 太郎
連 絡 責 任 者 (代表者と違う場合のみ記入)	住所
	ふりがな
	氏名
	TEL FAX
	E-mail
設 立 年 月 日 (または活動開始時期)	平成〇〇年 〇〇月 〇〇日 (NPO 法人認証の場合 取得年月日： 年 月 日)
構 成 人 数	25 人
団体の設立目的	この団体は、地域に住民の食生活の質の向上と、古くから伝わる食文化の伝承と青少年に対する食育を図るとともに、それらの活動を通じて高齢者の生きがいを作り、雇用の場の創出や休耕田・空き施設の利活用などの地域振興に貢献することを目的とする。
主な活動内容・活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統的な地域の郷土料理を紹介する講座の開催</li> <li>・ 子どもたちに向けた、紙芝居を使った保育園への出前講座</li> <li>・ 〇〇市の市民講座への講師派遣</li> <li>・ 退職者向けの生きがい見つけ方講座の開催</li> </ul>
主な活動場所	〇〇公民館 〇〇さん所有の休耕田(仮称 〇〇)

※団体の規約、会則または定款の写しを添付してください。

TRI ゆめ まち ひと 夢・街・人づくり助成金

## 団体の会員名簿

No.	役 職	氏 名	住 所
1	会長	東海太郎	小牧市△△町〇ー△
2	副会長	小牧花子	小牧市△△町〇ー△
3	会計	尾張次郎	小牧市△△町〇ー△
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			